

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	◎
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生	◎	環境	○
			地域交通・情報通信		まちづくり	
ふりがな		こやま しゅんじ				
氏名		小山 舜二				
所属	名称	鞍掛山麓千枚田保存会				
	役職	会長				
連絡	住所	(公開)	〒441-1942 愛知県新城市四谷59			(職場)
		(公開)	E-mail s-koyama[アットマーク]tees.jp			
	連絡先	(公開)	TEL 0536-35-0747 090-6586-4665(携帯)		FAX -	
		連絡方法	E-Mailもしくは携帯にお願いします			
略歴		<p>愛知県の四谷生まれの四谷育ち。愛知県水産試験場の研究員として在職中は鳳来マス、イワナ、アユ、ナマコの種苗生産、降海型アマゴ「サツキマス」の生態、三河湾の環境、藻場造成を研究。</p> <p>現在、鞍掛山麓千枚田保存会会長はじめ、棚田学会会員、自然観察指導員、愛知県農作物被害対策指導員、また、三遠南信住民ネットワーク協議会監事として地域活性の取組、地元博物館の学術委員として多忙な日々を送っている。</p>				
著作・論文等		<p>「四谷の千枚田だより」毎月発行 現在198号</p> <p>稲武町史、設楽町誌、豊川市誌自然編(魚類)編纂</p> <p>新城市の自然誌=昆虫・動物編=魚類、哺乳類執筆(市立鳳来寺山自然科学博物館)</p> <p>連谷小学校閉校記念誌編集委員長</p>				
取組概要		<p>かつては約1,300枚の田が広がっていたが、耕作放棄が進行し、373枚まで減少、H3年、50歳の誕生日に四谷の千枚田を「地域の宝」と位置付け保存活動を始動。H9に「鞍掛山麓千枚田保存会」を結成し、保全に向けた取組を続けた結果、420枚まで復田。多様性に富んだ四谷の千枚田を主役に自然観察会、地元小学校や高校、また、調理製菓専門学校等々の稲作体験学習の実施、企業研修の場として活用するとともに、癒やしを求める外部との交流「お田植感謝のタベ」～灯そう千枚田～や「収穫感謝祭」を実施。会長として中心的な人物として地域をまとめ、取組を推進している。</p>				
メッセージ		<p>これまで取り組んできた環境保全活動や棚田地域振興の知識と経験を生かし、地域の活性化に貢献したいと思っています。</p>				
関連ホームページ		-		活動エリア	中部圏	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。